

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成21年3月5日(2009.3.5)

【公表番号】特表2008-526440(P2008-526440A)

【公表日】平成20年7月24日(2008.7.24)

【年通号数】公開・登録公報2008-029

【出願番号】特願2007-551358(P2007-551358)

【国際特許分類】

A 6 1 F 2/06 (2006.01)

A 6 1 F 2/84 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/06

A 6 1 M 29/00

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月9日(2009.1.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

移植片システムであって、

近位端および遠位端が設けられた管状分岐移植片を備え、前記管状分岐移植片は、その管状分岐移植片に沿って長手方向にその中を通して管腔が延びており、

前記管状分岐移植片は、

分岐移植片材と、

第 1 のポケット材とを備え、前記第 1 のポケット材は、第 1 のポケットの近位のポケット縫い目、および、第 1 のポケットの遠位のポケット縫い目のところで前記分岐移植片材に縫い付けられて、前記分岐移植片の第 1 の周囲の移植片ポケットを構成しており、

さらに、第 2 のポケット材を備え、前記第 2 のポケット材は、第 2 のポケットの近位ポケット縫い目、および、第 2 のポケットの遠位のポケット縫い目のところで前記分岐移植片材に縫い付けられて、前記分岐移植片の第 2 の周囲の移植片ポケットを構成しており、

さらに、前記第 1 の周囲の移植片ポケットの中に収容された第 1 の自己拡張型支持リングを備え、前記第 1 の周囲の移植片ポケットは、前記近位端のところで、前記分岐移植片を周方向に取囲んでおり、

さらに、前記第 2 の周囲の移植片ポケットの中に収容された第 2 の自己拡張型支持リングを備え、前記第 2 の周囲の移植片ポケットは、前記近位端のところで、前記分岐移植片を周方向に取囲んでおり、

前記第 2 の周囲の移植片ポケットは、前記分岐移植片の軸線に沿って前記第 1 の周囲の移植片ポケットから離隔されているポケット部の分離長さに対して概ね平行に配置され、前記第 2 の周囲の移植片ポケットの前記移植片の前記遠位端に対する位置は、前記第 1 の周囲の移植片ポケットに対する位置よりも近接して配置されており、

さらに、主要移植片材を有する管状の主要移植片を備え、前記主要移植片は、その側部開口部に外辺部が設けられており、

前記分岐移植片の前記近位端を周方向に取囲んでいる前記第 1 の周囲の移植片ポケットの中に収容されている前記第 1 の自己拡張型支持リングが、前記主要移植片の前記側部開口部の内側に配置され、かつ、前記分岐移植片の前記近位端を周方向に取囲んでいる前記

第 2 の周囲の移植片ポケットの中に収容されている前記第 2 の自己拡張型支持リングが、前記主要移植片の前記側部開口部の外側に配置されるときに、前記分岐移植片のポケット部の分離部は、前記主要移植片の側部開口部の外辺部に嵌合して、前記主要移植片と前記分岐移植片との間に封鎖部を形成するようになっている、  
ことを特徴とする移植片システム。

【請求項 2】

前記第 1 の自己拡張型支持リング、および、前記第 2 の自己拡張型支持リングのうちの少なくとも一方は、ニチノール製のフープであるか、または、形状記憶特性を有している同じような素材から製造されることを特徴とする、請求項 1 に記載の移植片システム。

【請求項 3】

前記第 1 の自己拡張型支持リング、および、前記第 2 の自己拡張型支持リングのうちの少なくとも一方は、ニチノール製のステントであるか、または、形状記憶特性を有している同じような素材から製造されることを特徴とする、請求項 1 に記載の移植片システム。

【請求項 4】

前記ポケット部の分離部は、前記分岐移植片を形成している前記分岐移植片材から製造されることを特徴とする、請求項 1 に記載の移植片システム。

【請求項 5】

前記分岐移植片、および、前記主要移植片のうちの少なくとも一方は、少なくとも一部が、織物ポリエステル、発泡ポリテトラフルオロエチレン、ダクロン (Dacron) を含む素材の群から選択された素材から形成されることを特徴とする、請求項 1 に記載の移植片システム。

【請求項 6】

前記側部開口部は、前記主要移植片の側部に形成されることを特徴とする、請求項 1 に記載の移植片システム。

【請求項 7】

前記分岐移植片は、前記分岐移植片の少なくとも前記遠位端を解剖学的分岐導管の壁と接触状態に保持するための分岐移植片固定素子を更に備えることを特徴とする、請求項 1 に記載の移植片システム。

【請求項 8】

前記移植片システムは、前記分岐移植片を拘束する鞘部材を更に備えており、前記分岐移植片は、前記鞘部材が前記第 1 の自己拡張型支持リングを露出させる第 1 位置まで引出されると、可撓性の封鎖部の一方の側を形成し、前記鞘部材が前記第 2 の自己拡張型支持リングを露出させるように更に引出されると、前記可撓性の封鎖部の第 2 の側を更に形成することを特徴とする、請求項 1 に記載の移植片システム。